

6:10 あなたの神、主が、あなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた地にあなたを導き入れ、あなたが建てなかった、大きくて、すばらしい町々、
6:11 あなたが満たさなかった、すべての良い物が満ちた家々、あなたが掘らなかつた掘り井戸、あなたが植えなかつたぶどう畑とオリーブ畑、これらをあなたに与え、あなたが食べて、満ち足りるとき、
6:12 あなたは気をつけて、あなたをエジプトの地、奴隷の家から連れ出された主を忘れないようにしなさい。
6:13 あなたの神、主を恐れなければならない。主に仕えなければならない。御名によって誓わなければならない。
6:14 ほかの神々、あなたがたの回りにいる国々の民の神に従ってはならない。
6:15 あなたのうちにおられるあなたの神、主は、ねたむ神であるから、あなたの神、主の怒りがあなたに向かって燃え上がり、主があなたを地の面から根絶やしにされないようにしなさい。
6:16 あなたがたがマサで試みたように、あなたがたの神、主を試みてはならない。
6:17 あなたがたの神、主の命令、主が命じられたさとしとおきてを忠実に守らなければならない。
6:18 主が正しい、また良いと見られることをしなさい。そうすれば、あなたはしあわせになり、主があなたの先祖たちに誓われたあの良い地を所有することができる。
6:19 そうして、主が告げられたように、あなたの敵は、ことごとくあなたの前から追い払

われる。

イスラエルが祝福を受けたときに、主は最も警戒するようにモーセを通して、語られました。そのようなときに、人は神を忘れてしまうからです。それは「ほかの神々」すなわち偶像礼拝になって表れます。

私たちも同じで、安心するとそれまで頼っていた主を忘れ、主なしでやっていけると思い込んでしまいます。それで自分を神としてしまったり、別の勝手なものを神にしてしまうのです。その結果「根絶やしにされ」してしまうのです。

今安心している者は感謝しましょう。そしていっそう主に頼り、従いましょう。何をすればよいか主に聞きましょう。主と人のために、愛を持ってさらに求めるものを願いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

